

第一回北杜夫感想文コンクール

新種のコガネムシに名を留めるほどの虫好きだった作家・北杜夫さんが亡くなって早10年余。氏の作品の数多くのシーンに登場する虫たちの輝きは、発表から半世紀を経た今も全く色褪せることはありません。フェアブル会では、虫たちを愛して止まなかった北さんの世界に、令和の少年少女の皆さんにも浸って戴こうと、読書感想文を公募することにしました。

課題図書は「どくとるマンボウ昆虫記」と「谿間にて」の二点からお好きなものを。

何れも新潮文庫から刊行されています（「谿間にて」は「夜と霧の隅で」に所収）。「昆虫記」は北さんが自ら出会った虫たちを様々な角度から観察、考察したエッセイ集、一方の「谿間にて」は珍蝶フトオアゲハの採集に人生を賭ける謎多い採集人との邂逅を描いた短編。主人公の心のありようが、今なお蝶影濃い島々谷の戦後まもない姿と共に、活写されています。

応募の要領は以下のとおりです。

応募資格：小学生以上（フェアブル会会員である必要はありません。）

字数：400～800字程度（1000字を超えないこと）

締め切り：2023年5月10日（水）

様式：テキストをメールに添付してください。氏名、学年を明記してください。

送り先：第一回北杜夫感想文コンクール事務局

アドレス：fabre-kitamorio@googlegroups.com

結果発表：2023年9月頃に入選者へ連絡します。入選作品（最優秀賞1点、優秀賞数点）にはシナフトオアゲハの標本を贈呈します。

審査：奥本先生以下スタッフ一同